

② 段階的補強なら耐震化に取り組みます

APPROACH

耐震補強を、数回に分けて行う段階的補強には以下のようなメリットがあります。

💡 十分な資金を用意しなくても「耐震」に取り組める

いっぺんに耐震化を進めようとする多額な費用がかかる耐震補強も、段階的補強なら組合の資金力に応じて耐震化を進めて行くことができます。

💡 管理組合全体で合意できる補強がある

専用部分に係らない補強から始めることが可能なので、管理組合内の様々な意見をまとめやすくなります。



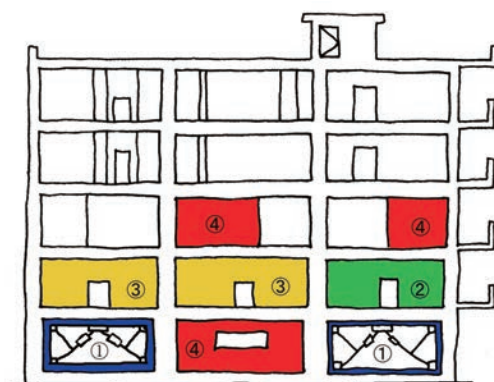
まず1階駐車場から始めましょう

💡 補助金を受けなくても補強はできる

様々な理由から自治体の助成が受けられない場合でも、組合の資金力に応じて補強を行っていくため耐震化に取り組むことが可能です。

💡 計画修繕に合わせて「耐震」を考える

定期的に計画されている大規模修繕の時期に少しずつ耐震改修を行うことで、無理なく、効率よく補強を進めることができます。



- ① 第1段階の補強 (鉄骨ブレース)
- ② 第2段階の補強
- ③ 第3段階の補強
- ④ 第4段階の補強

4回の段階補強で安全 (Is値0.6以上) を実現

💡 建替えを検討しても最低限の補強は必要

建替えを考えているマンションでも何もしないのは不安です。いつ来るかわからない大地震に備え最低限必要な補強を行っておくことが居住者の命を守ることになります。



とは言え、段階的補強も万能ではありません。建物の一部を補強した結果、かえって耐震性が下がってしまうこともあります。部分的な補強、段階的な補強を検討する場合は、必ず「耐震」に詳しい専門家のアドバイスを受けながら進めましょう。